

# 競技上の確認事項

- 1 競技は、2016年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 開館時刻 8：00
- 3 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は、予定した時刻より遅れることがあっても、早く開始されることはない。プロトコール開始は、プログラム記載時刻の11分前とする。  
各試合とも、10分の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。なお、当該チームの試合が連続してしまう場合は、前の試合が2セットで終了した場合は最大15分間、3セットの場合は最大20分間空けて、プロトコールに入る。
- 4 第1試合の前の練習は、コート設営が完了し、コート系の許可が出てから自由にコートを使って練習できる。ただし、ネット越しのプレーは禁ずる。  
第1試合のプロトコール開始10分前からは、第1試合のチームのみの練習とする。
- 5 開始式前はフロアでの練習を禁ずる。
- 6 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 7 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 8 監督、コーチ、マネージャーマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- 9 スタッフ（監督・コーチ）は、統一された服装でベンチに入ること。また、マナーについては十分留意すること。
- 10 エントリー確認用紙を監督会議終了時に競技委員長に提出すること。これ以外の変更は、いかなる場合も一切認めない。教職員外のコーチの変更がある場合、新たな「学校教職員外コーチ承認願」を提出すること。
- 11 開始式に参加する選手は、12名以内とし、統一したユニフォームを着用すること。  
（マネージャーの参加も認める）
- 12 すべての試合のIF・リベロチェックと2日目のすべての試合の線審・点示は、岩手地区内のバレーボール部員が行なう。  
1日目のすべての試合の線審（4名）と点示（4名）は敗者チームから出すこと。ただし、第1試合の線審と点示は、各コート第3試合のチームから出すこととする。

## 審判上の確認事項

- 1 本大会は、2016年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じる。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 各コートには、ウォーム・アップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 3 セット間は、フリー・ゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 4 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと  
(相手チームに向かってのガッツポーズ等)。
- 5 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや 交代競技者ともタッチ（ハイタッチなど）を行わないこと。
- 6 タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がりコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確にして示すこと。
- 7 サブスティチューションは、ナンバーカードを用いてのクイックサブスティチューションで行う。
- 8 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、控えメンバーもしくはその他の部員からクイックモップ（2名以内）を待機させることができる。
- 9 リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。

## 選抜大会の参加基準

- 1 本大会の男女各上位16チームは、平成29年2月11、12日に北上市で行なわれる岩手県中学校選抜バレーボール大会の出場権を得るものとする。
- 2 男子チームで、1/16ゾーンからベスト16に勝ち上がった場合、対戦した2チームのなかで得失点で上回っているチームが選抜大会への出場権を得るものとする。得失点と同じ場合はチーム代表者（キャプテンまたは監督）が抽選を行う。（チーム代表者が抽選出来ない場合は、チーム代表者から代理を依頼された者）